



***Autonomic Nerves
Therapist course
Basic③-1***

神経・筋膜の機能解剖

日本アレルギーリハビリテーション協会 代表
アレルコア 代表 理学療法士
及川 文宏



©JARA 無断使用・転載禁止



Basic③— 1

- 神経・筋膜の構造と機能
- 神経の働きに影響を与えるもの
- 神経における3つの問題と解決策
- 神経・筋膜への介入が必要な状態
- 神経・筋膜のトラブルの見つけ方
- 自律神経が乱れる原因
- 交感神経ストレッチ



神経の働きに影響を与えるもの

- **神経内の血液循環**（出入り）

- **神経の弾性**

脂肪・結合組織、神経内・外・周膜

- **神経周りの組織**（関節的に）

位置や動きを含めた状態



神経・筋膜のトラブルの見つけ方

• Self Screening

上肢のセルフチェック

• Tension Test

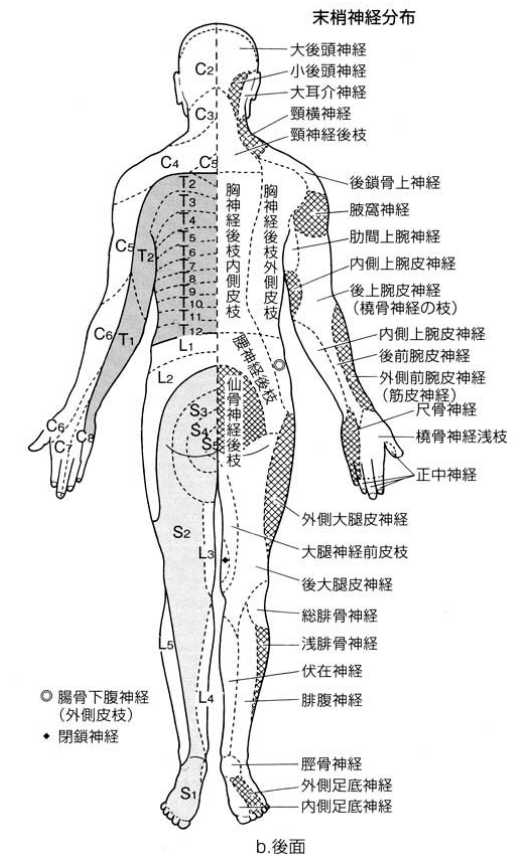
Global Test , Specific Test

• 症状の出ている部位

温度（冷え・ほてり）、痺れ、痛み
皮膚（発赤、発汗）、蕁麻疹など

• 触診

神経、筋・筋膜、皮膚など





橈骨神経





交感神経

- T1-2胸髄 ⇒ 口渇や眼窩の痛みや疲労感に関わる
- T3-4胸髄 ⇒ 心臓をコントロール
- T3-6胸髄 ⇒ 上肢
- T7-12胸髄 ⇒ 下肢
- 腹部臓器（T5-12）、骨盤臓器（L1-2）
⇒ 腹部と骨盤内の臓器へ